



学力向上にむけて 調査結果を校内研修で活用しましょう

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。授業改善のために、校内全職員が自校の成果と課題を把握することが大切です。

★ 平均正答率（自校の欄に、職員ひとりひとりが記入しましょう。）

小学校	全国	千葉県	自校
国語	65.6%	66%	
算数	63.2%	63%	
理科	63.3%	63%	

中学校	全国	千葉県	自校
国語	69.0%	68%	
数学	51.4%	50%	
理科	49.3%	48%	

★ 記述式問題の平均正答率

小学校	全国	千葉県	自校
国語	51.3%	50.8%	
算数	60.2%	58.9%	
理科	47.3%	45.9%	

中学校	全国	千葉県	自校
国語	57.4%	54.2%	
数学	36.2%	34.6%	
理科	53.5%	51.6%	

南房総教育事務所管内で課題が見られた問題

教科	問題番号	問題の概要	問題形式
小学校国語	2- (2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	選択式
小学校算数	1 (4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	選択式
小学校理科	4 (2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	選択式
中学校国語	1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	記述式
中学校数学	1	42を素因数分解する	短答式
中学校理科	5 (3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	記述式

★ 自校の分析をしましょう

教科	誤答や無解答が目立った問題	経年変化から読み取れること(成果を含めて)
国語		
算数数学		
理科		

千葉県の分析ツールの「誤答分析シート」を活用して、自校の児童生徒がどこでつまづいているのかを分析することができます。自校の解答状況や、経年変化を丁寧に分析して、どの教科、どの学年にも通じる共通の成果や課題を見つけましょう。

★ 校内共通の成果や課題

〈例えば・・・〉

経年変化を見ていくと、国語の「読むこと」に関して、正答率が年々上がってきている。「あきらめてしまい最後まで問題に取り組めない」「記述することが苦手である」ことは、共通した課題である。



★ 校内共通の「改善の視点」

〈例えば・・・〉

本校は、国語での「読むこと」に関して、全国平均を上回り、継続して行ってきた読書活動の推進の成果が見られる。今後も継続するとともに、さらに表現活動を加えるなど、より充実したものにしていく。また、本校は、記述式の問題に課題がある。全国学力・学習状況調査では、授業で書く活動をよく取り入れている学校ほど、平均正答率が高くなるというデータも得られている。まずは、校内共通で『自分の言葉でまとめを書く』を毎時間の授業に取り入れる。

令和4年度に活用できる！！
全国学力・学習状況調査分析活用リーフレット

学力が上がる
授業改善の
処方箋

令和4年度に活用できる！！
全国学力・学習状況調査
分析活用リーフレット

全国学力・学習状況調査を上手に活用！！
自校の実態に応じた
授業改善をしよう

調査結果を校内研修に活用していますか？

調査項目	千葉県 (%)	全国 (%)
調査結果を校内研修に活用している割合	78%	88%
調査結果を校内研修に活用している割合	58%	76%

千葉県は全国に比べて校内研修や授業改善に調査結果を活用している割合が少ない！！

授業改善のポイントは、自校の課題を把握すること

千葉県教育委員会

千葉県教育委員会作成 全国学力・学習状況調査分析活用リーフレット「学力が上がる授業改善の処方箋」(各学校へ3部配付してあります)をご活用ください。また、令和4年度千葉県学力向上通信「COMPASS」にも、調査結果を校内研修に生かす方法が記載されています。ぜひ、ご活用ください。

千葉県の学校で学力が向上した取組！4つの共通点 ～「学力が上がる授業改善の処方箋」から抜粋～

- 1 学力向上部会を組織として位置付け、学力向上推進体制をつくる
- 2 授業改善の手立てを全学年・全教科同一歩調で共通理解する
- 3 学力が伸びる教育課程の工夫をし、学びやすい環境を整える
- 4 家庭・地域と連携し、学校外の人的資源・物的資源を有効活用する

自校の成果や課題が明確になれば、全教科・全学年を通じて授業改善の方向性が定まり、教育効果が高まります。校内研修の研究テーマや重点項目に調査結果から得られた課題を設定することで、校内の足並みを揃え、一丸となって学力向上に取り組んでいきましょう。